

腹腔鏡下結腸切除術を受けられる患者様へ (/)()時()分から手術予定です

		(/ ~ /)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	(/ ~ /)	
		入院時~前日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5~6日目	手術後7~8日目	手術後9日目~退院
達成目標		治療について心配なことや不明な点を主治医や看護師に伝えることができる 疾患、手術、麻酔について理解されている		痛みや気分の不快を主治医や看護師に伝えることができる 傷口からの出血が起こらない		痛い時や調子の悪いときに主治医や看護師に伝えることができる		腹部症状出現時や便秘時は報告ができる 退院後の生活について不安な事が主治医や看護師に伝えることができる 入院前と同じ日常生活ができる			
治療処置など	処置	お腹の除毛をします お臍の掃除をします	手術着に着替えます 深部静脈血栓予防の弾性ストッキングを履きます(対象者のみ)	創部に管がはいります 腰にチューブを入れるか点滴での痛み止めを開始します 酸素マスク・心電図モニターをつけます 深部静脈血栓予防のフットポンプを装着します 手術後は適宜血圧などを測ります	朝に酸素・心電図モニターを外します 歩行状態にあわせてフットポンプを外します	ガーゼ交換をします	痛みに合わせて痛み止めを中止し除けます。	状態に応じて創部の管をのけます	→		
	点滴	先生の指示があれば点滴をします	手術開始2時間前(:)に手術室で抗生剤の点滴をします	抗生剤点滴(帰室6時間後)をします	朝・夕抗生剤の点滴をします(3日間程度) 血栓予防のための皮下注射をします 術後1、3日目は21時、その他の日は9時と21時に実施します 必要時内服薬が処方されます		術後5日目の朝抜去する予定です		術後7日目まで実施します		
	内服	()時に下剤()時に抗生剤を飲みます	指定された薬を(:)に内服してください	現在飲んでいる薬は中止です 痛みが強い時は鎮痛剤を使用します		鎮痛剤・胃薬が処方され定期的に内服します		主治医の指示により内服が再開します			
検査			手術後 採血・レントゲン	採血 レントゲン		採血 レントゲン			採血 レントゲン		
安静度	院内自由	トイレ歩行のみ可能です	ベット上安静です	トイレ歩行を開始します。管に気をつけて歩行してください (初回歩行時は看護師が付き添います)				制限はありません			
食事	()食が出ます	(:)から絶食です (:)から絶飲です	絶飲食です 	朝から水分摂取開始 屋から食事が開始(流動食)		特軟菜食主 ² (3分粥)	手術後5日目 軟菜食5分粥 手術後6日目 軟菜食全粥	手術後7日目 普通食			
排泄		手術までに女性は陰部をウォッシュレットで洗浄してください 男性はお湯の入ったボトルで陰部洗浄を行います	手術中に尿の管をいれます	尿の管を抜きます 尿量測定をしていただきます(8日目まで)		制限はありません 便秘時はお知らせください					
清潔	感染予防のため入浴してください	洗面、歯磨き、髭剃りを済ませておいて下さい		体を拭きます 寝衣を着替えます		術後5日目より洗髪が可能です		ガーゼがなくなればシャワー浴ができます			
説明	看護師	入院生活や食事表の書き方・手術前後の処置と経過について説明します 手術室の看護師より全身麻酔手術の説明とICUの看護師より入室の説明があります 承諾書・同意書・問診票を提出して下さい 手術前の歯科の受診があります 手術室には、化粧・マニキュア・コンタクト・入れ歯・指輪・時計・ヘアピン・湿布・ピップエレキバン等は全て外してください。		創部に入った管の注意点を説明します 手術後の歯科の往診があります 手術室の看護師による手術後の状態観察のための訪問があります				看護師が退院指導をします			
	栄養士	入院時に栄養状態を評価し、必要時栄養指導を行います									
	薬剤師	内服がある患者さんには薬剤師から内服についての確認があります			薬についての説明が必要な場合は訪問します						